

本籍
住居

供
述
調
書
金沢市東カニ目ニハ番地ニ
犀畔荘一号室
同右

職業

トラック運転手

電話カニ局一五五五番

氏名

廣野 秀樹
ひろの ひぐさ

右の者に対する

四月九日

金沢西警察署
張姓

昭和三九年一月二日生（三七歳）

被疑事件につき、平成四年

において、本職は、あらかじめ

被疑者に対し自己の意思に反して供述をする必要がない旨を告げて取り調べたところ、任意

次のとおり供述した。

石川県警察用紙

只今刑罰されてから

自己の怠り因に成して後述を

する必要が有る

し、肉をその事にはよく分かつています。

私、四月一日夜

金石のサナトリウムに空地

で安藤文子と強姦してしまいました

が、この外で二回ばかり刑罰を

を要月して、この強姦現場に行

くおります。

この強姦の外で訂正部の方

三

まじお話しすまじりがあるの
お話しす。

まじ訂正部方です
昨日、強姦母の現場です。

強姦母の状況

を再現してやる。前、取調へて
出、た車か周達、さいる車に気付
きまじい。

そのは強姦母の最中に
強姦、まり安藤文さんの

乳房を付めた

前、取調へる

左乳房を付めた

山口県警察用紙

四.

と云いもしたか

二つは松の方から見て

左側でしめたで、~~左側~~強つて

その様いふ、つし、この

右乳首をためた

ので、その様い訂正して下さい。

まだお話しして下さるから、

↑が

除きして、~~最中~~い

私の正副の方、

金石のサトリウイのオ、

民家の灯り、

灯り、

判

18

加

あ

そのぐ。張をい場所の見当が
付いた。

私が彼女を張をい場所

い。二回刑をさして案内

し。お。只。左。回。回。

と。い。い。の。く。参。り。し。こ。下。さ。い。

回。回。矢。印。で。示。し。た。様。い。

張。を。い。場所。い。行。き。彼。女。も。張。を。い。

い。後。矢。印。の。方。向。い。事。を。さ。さ。て。

金。沢。面。の。警。署。に。来。な。さ。す。

時。本。部。に。石。炭。運。人。が。作。成。し。提。出。

に。回。回。本。部。書。未。展。に。添。付。す。る。

と。し。い。

三川県警察用紙

五

久

張女の時要時分より

張女のクパンのベルトの鍵を外して

から張女をいし張女を終つて

クパン等をはかせて元の通り

助手席に寝かせる迄

。分月程

びと男

年後ハ時五分頃

年後ハ時五分頃から

年後ハ時五分頃の頃迄と

同じく

張女をいし後張女はパンティーを

はかせる際そのパンティーは生理用の

七、

ナプキン

が付いていないか

血が付いていないか

感はないか

は、たまたまのことか

ナプキンは、手に取って匂いを嗅ぐ

りしていませんか

彼女が生理前か生理後か

か私にわかりますか

彼女が彼女が、とかどうか私には

わかりますか

彼女が生理前か生理後か

自分か他人か

三川県警察月氏

血が付いたか、と様々伺います。の
で、マックスの経歴はあつた様に伺いま

す。

私は、彼女の女とマックスの経歴が
よく、彼女がどんなものか存じませ

ず。私は、彼女と五人組と

簡易な五人組とマックスの経歴が

あり、それが彼女つまり

文藝的な性質は

ゆるい方ですね

そんな感じなんです。伺います。

彼女と関係した後、

途中、ジョージア・フリーを

た、

買ひ 金沢西警察署に向ひたか
 飲せましむが

その空手

1. 私の建の中にあると聞い

自らは空手を外に投げ捨てる

し、たのびてそう聞い

私は、この空手に強敵の経験はあり

ます。

この空手とマックスをやる

チンボが半立ち若しくは

マックスが出来るか、と云う事は

ありませう。

彼女つまり安藤文彦を強敵

三三川警察署月氏

すき時、チヤが半
ころろ、かた
ころろとし、か、か、か、

かわいそう

と云う気持ちがある、だからと云うので

↑

しかし、半々まで来ないと云う

後で取付と思いつくと、かチンボを

かたきして、彼女を強姦した

ズ

彼女を強姦したのは、同右の性

を満足しないとかうめづける

彼女の真意を肉ニうと、

受たり蹴たりした、

結局 敵女の真意を問けず
最後の手殺として

孫女

をしひのぶ

孫女 → まあにも

向方の女

いしひのぶ

廣野秀樹



誤りの取り除いて、読者の心を
無き事を申し立てる印した。

前刊目

石川金次郎 西警察署
司法警察官

三三川具 警察長 月氏

金石バス
ターミナル

金石
ターミナル

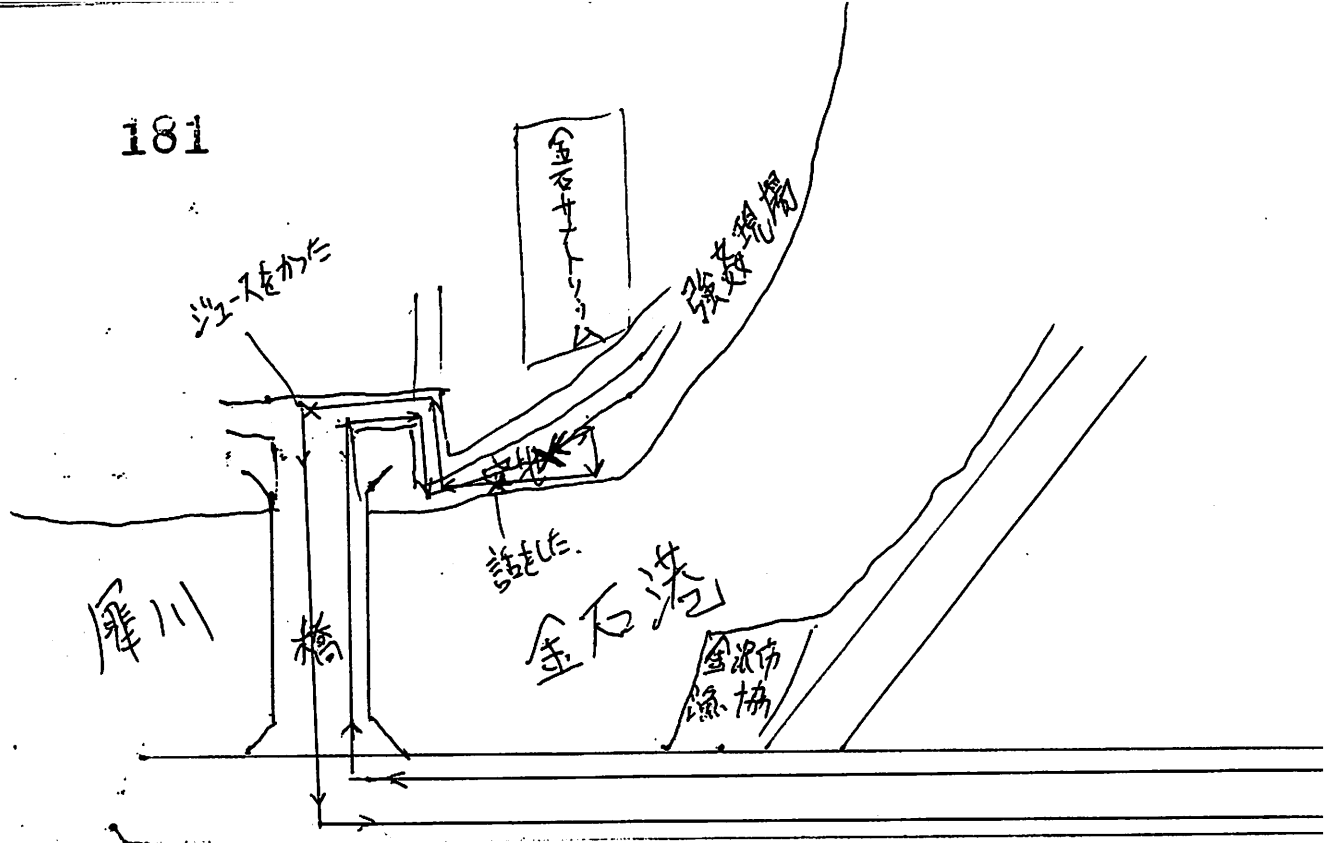
金沢西
警察署

止まって
待たされた

竹内石油

金沢港
のちから
来た。

181



441

平成四年四月十六日 廣野秀樹

○

監部補
右内
孝七



本川具誓
多月
糸



現場

空地

車を止めて
盗をした

白石港

金沢西警察へ向った

扉 117

金石サナトリウム

民家の灯

民家

車を止め
泣きを買った

自動販売機
シース

平成四年四月十六日

廣野秀樹

